

# Visual Mining eXpress

## インストールガイド

Version 1.0.3

株式会社 数理システム

### 問合せ

Address 東京都新宿区新宿 2-4-3  
Phone 03-3358-6681  
Fax 03-3358-1727  
E-mail [vmstudio-support@msi.co.jp](mailto:vmstudio-support@msi.co.jp)

2012 年 09 月 12 日更新

# 目次

1. 概要 .....	3
1.1. はじめに.....	3
1.2. 動作環境.....	4
1.3. VMX 構成.....	6
1.4. インストーラーの挙動.....	7
1.5. 製品名称の改名 .....	8
2. インストール.....	9
2.1. インストールを行なう前に.....	9
2.2. インストールの手順.....	10
2.3. 管理ユーザの作成 .....	21
3. アンインストール.....	23
3.1. アンインストールを行なう前に .....	23
3.2. アンインストールの手順.....	24
3.2.1. VMX アンインストール .....	24
3.2.2. VAP WEB Server アンインストール.....	30
3.2.3. Apache アンインストール.....	32
3.2.4. Python アンインストール.....	34
3.3. アンインストール時の完全削除 .....	35
4. バージョンアップ.....	36
5. よくある質問とその解決方法 .....	33
5.1. ブラウザの接続に失敗（ページが開かない） .....	33
5.2. Apache のデスクトップ対話サービスの変更.....	35
5.3. 未対応／動作保証外ブラウザのメッセージ表示.....	39
5.4. VAP 実行中のメッセージ表示 .....	40
5.5. Web の公開設定.....	41
索引.....	44

# 1. 概要

---

## 1.1. はじめに

本紙は Visual Mining eXpress (以降 **VMX**) のバージョン 1.0.3 を対象としたインストールガイドです。下記の手順について説明しています。

- VMX のインストール
- VMX のアンインストール
- VMX のバージョンアップ

これらの操作を行なう際、**管理者権限をもつユーザ**で操作を行なってください。

尚、本紙の説明、およびスクリーンショットは Windows7(64bit)環境 (一部 XP 環境) です。また印刷の都合上、画像を薄く白っぽくしている箇所があります。予め御了承ください。

## 1.2. 動作環境

VMX の動作環境は、サーバ側、クライアント側、それぞれ以下のとおりです。

表 1-1 動作環境

	サーバ	クライアント
CPU	Pentium4 1GHz 以上 (*1)	
メモリ	1 GB 以上(*1)	
HDD	空き容量 5 GB 以上(*1)	
OS	WindowsXP SP2 (-----/64bit) (*2) WindowsXP SP3 (32bit/-----) (*2) WindowsVista (32bit/64bit) (*2) Windows7 (32bit/64bit) (*2) WindowsServer2003 (32bit/64bit) WindowsServer2008 (32bit/64bit)	
必要なソフトウェア	Visual Mining Studio 7.2.0 (*3)	WEB ブラウザ (推奨)  Internet Explorer 9 (*4) 又は Internet Explorer 8 (*4) 又は Mozilla Firefox 14.0 (*4) 又は Google Chrome 20 (*6)
一緒にインストールされるソフトウェア	Visual Analytics Platform 1.0.2 (*7) Python 2.6 (*8)(*10)(*11) Apache 2.2 (*9)(*10) Visual Analytics Platform WEB Server 1.0.3 (*12)	

- \*1) おおよそ可動可能なスペックになります。分析対象のデータの大きさや分析の複雑さによつては、この値より更にハイスペックなマシンが好ましい場合があります。
- \*2) クライアント OS は小規模(同時接続で 10 名以下)を推奨します。詳細は「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」を御確認ください。
- \*3) Visual Mining Studio(以降 **VMStudio**) はデータマイニングを行なうソフトウェアであり、(株)数理システムの製品です。VMStudio の動作には、Visual Analytics Platform(以降 **VAP**) が必要になります。尚、この VAP は VMStudio 製品に同梱されています。VMX のインストールの前に VMStudio がインストールされている必要があります。
- \*4) マイクロソフトが開発しているウェブブラウザです。  
<http://www.microsoft.com/japan/windows/Internet Explorer/>
- \*5) Mozilla Foundation が開発しているウェブブラウザです。  
<http://mozilla.jp/firefox/>
- \*6) Google が開発しているウェブブラウザです。  
<http://www.google.co.jp/chrome>
- \*7) Visual Analytics Platform は分析ツール用プラットフォームです。製品 VMStudio に同梱されています。
- \*8) Guido van Rossum 氏による、フリーなオブジェクト指向プログラミング言語です。  
<http://www.python.org>
- \*9) Apache HTTP サーバプロジェクトの Web サーバソフトウェア製品であり、オープンソース・ソフトウェアです。  
<http://httpd.apache.org>
- \*10) 公式サイトより同名のソフトウェアをインストールされていても互いに干渉しません。本システム用にカスタマイズしています。
- \*11) デフォルトで非公開に設定されます。公式の Python の代わりに用いることはできません。
- \*12) Visual Analytics Platform WEB Server (以降 **VAP WEB Server**) は (株)数理システムの製品です。VMX を構成する基本的なソフトウェアになります。

### 1.3. VMX 構成

VMX の構成は以下の通りです。

表 1-2 VMX の構成

ソフトウェア	概要
Visual Mining eXpress	VAP WEB Server の機能を継承しつつ、定型的なデータマイニングの分析処理および分析メニューを提供します。
VAP WEB Server	Web アプリケーションサーバのフレームワークとして機能します。 VAP と Web サーバを連携させて、分析処理を行なう為の機能を提供します。
Apache	Web サーバソフトとして利用します。
Python	VAP WEB Server のプログラム言語です。
VMStudio	データマイニングを行なう分析ツールです。
VAP	分析ツールのためのプラットフォームです。データ処理の実行エンジンとして機能します。

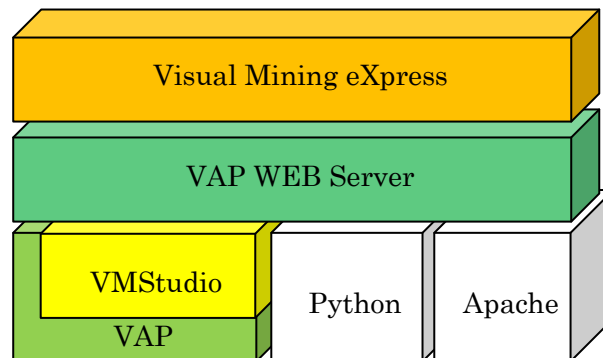


図 1-1 VMX の構成図

## 1.4. インストーラーの挙動

インストーラーは、インストールの有無やバージョンによって挙動が変わります。

表 1-3 インストール状態とインストーラーの挙動

インストール状態	インストーラーの挙動	詳細
未	通常のインストール	
同バージョンがインストール済	上書きインストール	ユーザ情報、メニュー情報は初期状態になります。 分析結果は保持されます。
旧バージョンがインストール済	中断	手動で、旧版のデータを残してアンインストールしてから VAP をバージョンアップして、新版のインストールを行なってください。
新バージョンがインストール済	中断	インストーラーが古い場合です。

また、アンインストールではデータの削除の可否を選択できます。

表 1-4 ユーザ選択とアンインストーラーの挙動

ユーザ選択	アンインストーラーの挙動	詳細
全削除	全削除してアンインストール	ユーザ情報、分析結果を削除します。
データを残す	ユーザ情報、分析結果を残してアンインストール	ユーザ情報、分析結果を残したまま、製品に関するファイルを削除します。

---

## 1.5. 製品名称の改名

バージョン 1.0.0 以降とそれ以前のバージョンの製品の名称が変更になっています。対応関係は次の通りです。

表 1-1 名称対応

旧名称(バージョン)	新名称(バージョン)
Visual Mining Studio (7.0.2)	Visual Analytics Platform (1.0.0)
	Visual Mining Studio (7.1.0)
Visual Analytics Platform (0.9.3)	Visual Analytics Platform WEB Server (1.0.0)

Visual Mining Studio 7.0.2 は、プラットフォーム Visual Analytics Platform 1.0.0 とその上で動作するソフトウェア Visual Mining Studio 7.1.0 に分かれました。

特に **VAP** は **0.9.3** 以前と **1.0.0** 以降で指しているものが異なるので注意が必要です。



## 2. インストール

### 2.1. インストールを行なう前に

インストールを開始する前に、既に**最新版の VAP 及び VMStudio** がインストールされている必要があります。また **VAP が起動中であれば直ちに終了**してください。VAP を終了しているのに、インストーラー実行時に「VAP が実行中」の旨表示される場合は [5.4 章 VAP 実行中のメッセージ表示](#)を参照してください。

インストール作業を行なう際には、**Windows の管理権限をもつユーザ**で行なってください。まずインストーラーを用いて製品のインストールを行ないます。主な作業手順は下図の通りです。数理システムの他製品（Text Mining Studio や S3 など）により既に Python 等がインストールされているときは工程をスキップします。インストール中に再起動を求められた時は、全てのインストールが終了してから再起動を行なってください。その都度再起動を行なっても構いませんがその時は改めてインストーラーを実行して下さい。

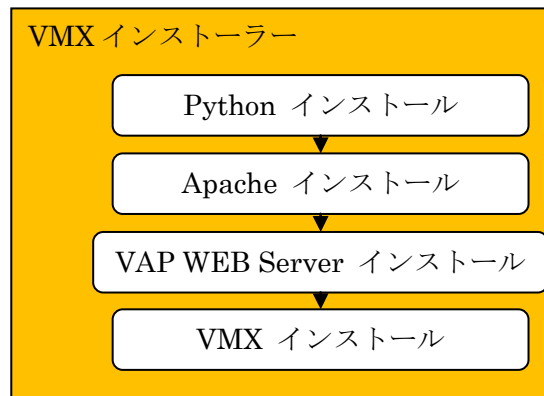


図 2-1 作業手順

## 2.2. インストールの手順

まず、VMXSetup\_x.y.z.exe(x, y, z は任意の数字)を実行してください。

### Win7, Vista のみ

インストーラーを起動すると管理者での実行を確認するダイアログが表示されます。

「はい」を選択してください。

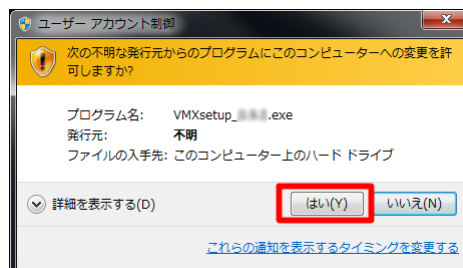


図 2-2 管理者実行確認

イントール作業を開始する前に全体の作業の確認ダイアログが表示されます。

「はい」を押下してください。「いいえ」を選択すると、作業を中断します。

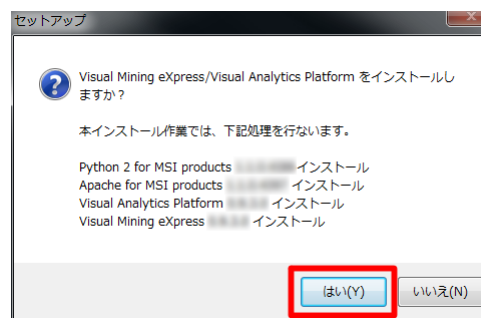


図 2-3 作業確認

まず Python のインストールを行ないます。既にインストール済みの場合はスキップして次のインストールに移ります。

Python のインストーラーを実行するメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。



図 2-4 確認メッセージ

Python のインストールウィザードが起動します。

「次へ」を選択してください。

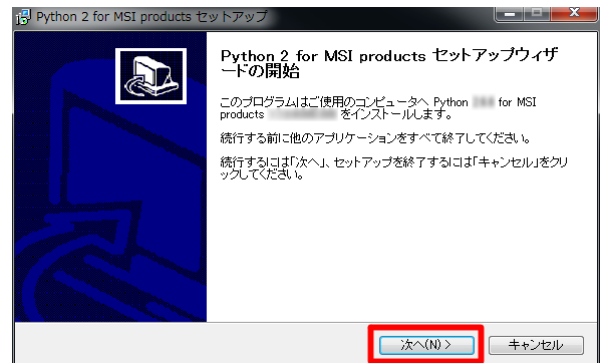


図 2-5 インストールウィザード(1)

Python のインストールディレクトリを指定します。

デフォルトの設定のまま、「次へ」を選択してください。

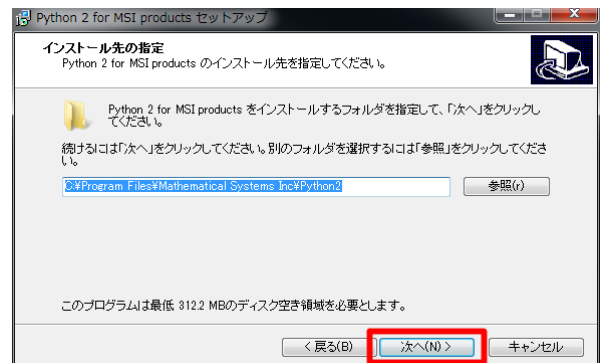


図 2-6 インストールウィザード(2)

インストールを開始する前に確認のメッセージが表示されます。

「インストール」を選択してください。直ちにインストールが開始されます。

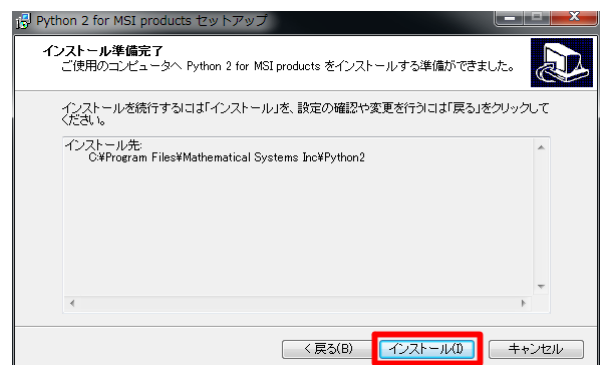


図 2-7 インストールウィザード(3)

インストール中は経過が表示されます。そのままお待ちください。

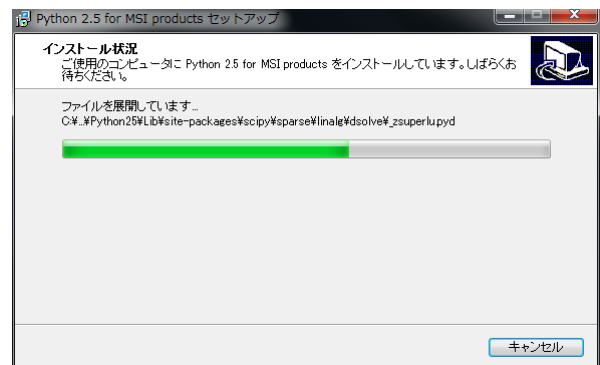


図 2-8 インストールウィザード(4)

インストールの最後にコマンドプロンプトが表示されます。自動的に閉じるまで、そのままお待ちください。(最適化を行なっています)

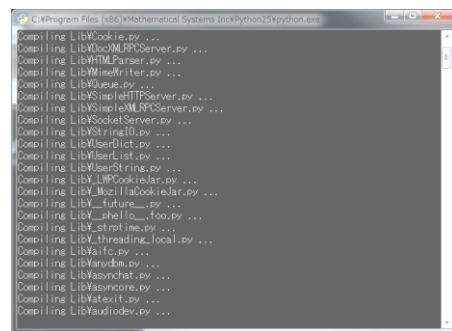


図 2-9 コマンドプロンプト

Python のインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「完了」を押下してください。

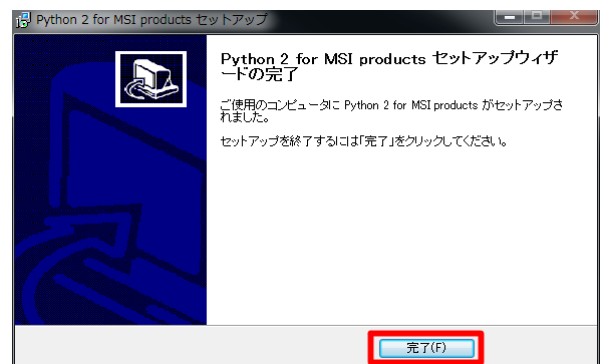


図 2-10 インストールウィザード(5)

### 場合により

再起動を求めるメッセージが表示されることがあります。ここでは「後で手動で再起動」を選択して、全てのインストール作業が終わった後に再起動してください。

もしも再起動を選択したときは、インストール作業を中断して、再起動後、改めてインストールを行なってください。インストール済みの製品はスキップされて、インストールが行なわれます。



図 2-11 インストールウィザード(6)

続いて、Apache のインストールを行ないます。既にインストール済みの場合はスキップして次のインストールに移ります。

Apache のインストーラーを実行するメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。



図 2-12 確認メッセージ

Apache のインストールウィザードが起動します。

「次へ」を選択してください。



図 2-13 インストールウィザード(1)

Apache の詳細を設定します。この設定はインストール後に変更できます。

「次へ」を選択してください。

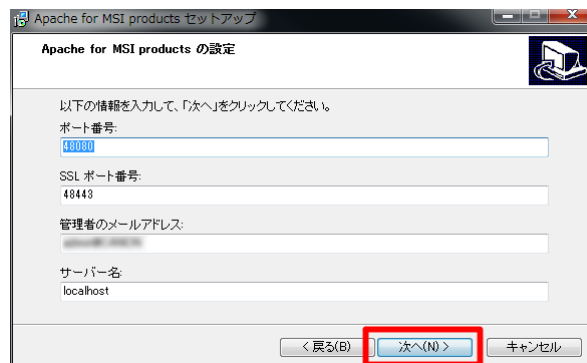


図 2-14 インストールウィザード(2)

スタートメニューに作成するメニューフォルダ名を指定します。

デフォルトの設定のまま、「次へ」を選択してください。

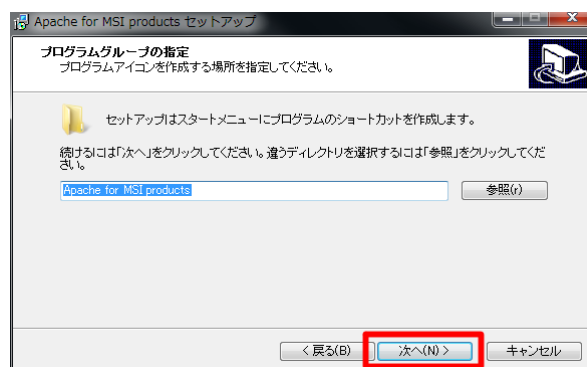


図 2-15 インストールウィザード(3)

インストールを開始する前に確認のメッセージが表示されます。

「インストール」を選択してください。直ちにインストールが開始されます。

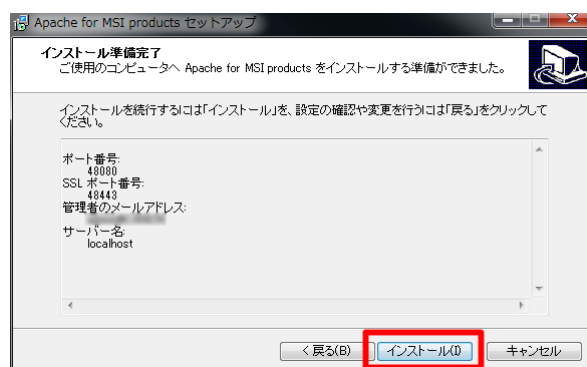


図 2-16 インストールウィザード(4)

インストール中は経過が表示されます。そのままお待ちください。

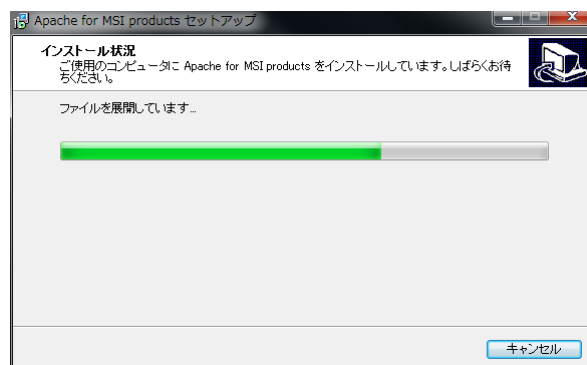


図 2-17 インストールウィザード(5)

インストール中にコマンドプロンプトが表示されます。自動的に閉じるまで、そのままお待ちください。

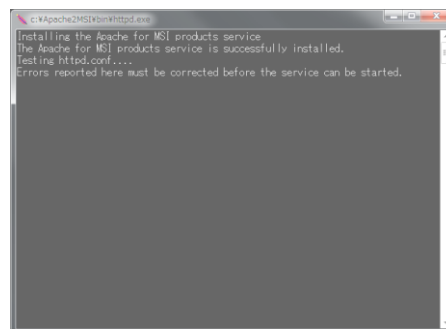


図 2-18 コマンドプロンプト

### 初回のみ

初回のインストール時にセキュリティの警告が表示されます。

「ブロックを解除する」を選択してください。

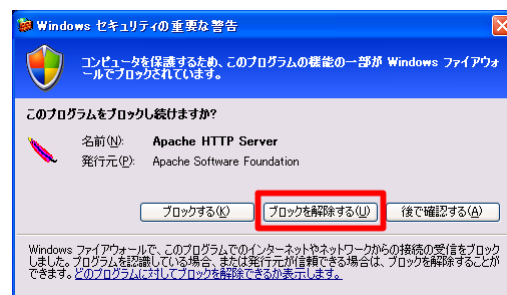


図 2-19 セキュリティ警告ダイアログ

Apache のインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「完了」を押下してください。



図 2-20 インストールウィザード(6)

#### 場合により

再起動を求めるメッセージが表示されることがあります。ここでは「後で手動で再起動」を選択して、全てのインストール作業が終わった後に再起動してください。

もしも再起動を選択したときは、インストール作業を中断して、再起動後、改めてインストールを行なってください。インストール済みの製品はスキップされて、インストールが行なわれます。



図 2-21 インストールウィザード(7)

Apache をインストールすると、スタートメニューにメニューフォルダ「Apache for MSI products」が作成されます。



図 2-22 Apache のスタートメニュー

続いて、VAP WEB Server のインストールを行ないます。



VAP WEB Server をインストールするメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。

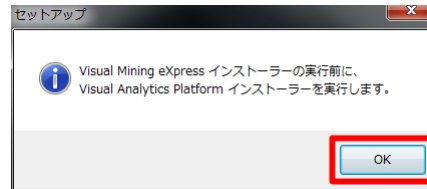


図 2-23 確認メッセージ

VAP WEB Server のインストールウィザードが起動します。

「次へ」を選択してください。インストールが開始されます。



図 2-24 インストールウィザード(1)

インストール先を指定する画面が表示されます。

特に問題無ければデフォルトのまま、「次へ」を押下してください。

Win7, Vista のみ

C:\ProgramFiles および

C:\ProgramFiles (x86) 以下は指定しないでください。

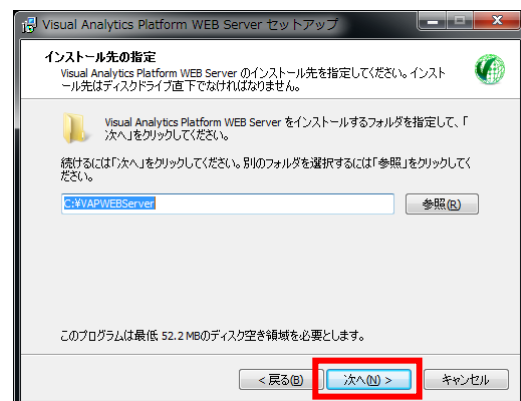


図 2-25 インストールウィザード(2)

スタートメニューに作成するメニューフォルダ名を指定します。

デフォルトの設定のまま、「次へ」を選択してください。

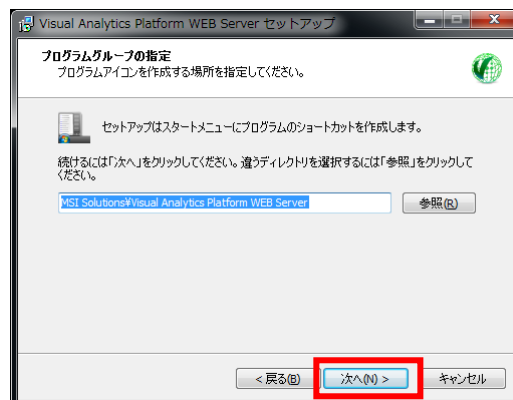


図 2-26 インストールウィザード(3)

インストールを開始する前に確認のメッセージが表示されます。

「インストール」を選択してください。直ちにインストールが開始されます。

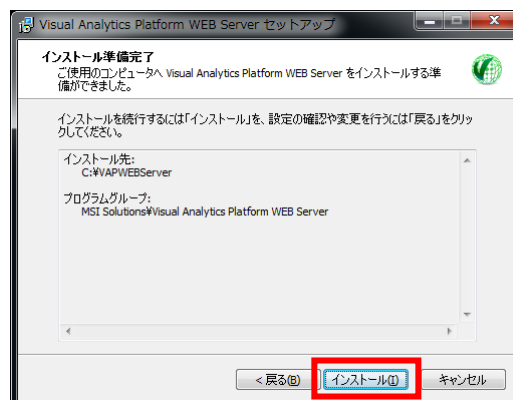


図 2-27 インストールウィザード(4)

インストール中は経過が表示されます。そのままお待ちください。

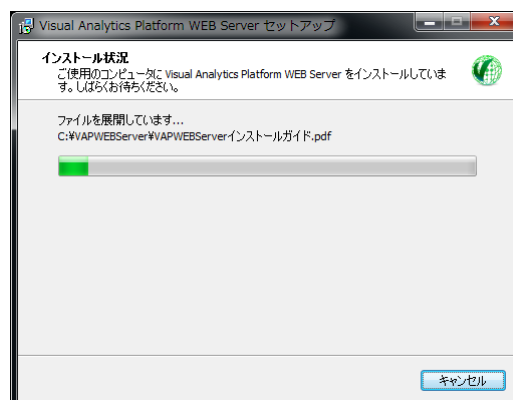


図 2-28 インストールウィザード(5)

VAP のインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「完了」を押下してください。



図 2-29 インストールウィザード(6)

VAP WEB Server をインストールすると、スタートメニューのメニューフォルダ「MSI Solutions」以下に「Visual Analytics Platform WEB Server」が作成されます。

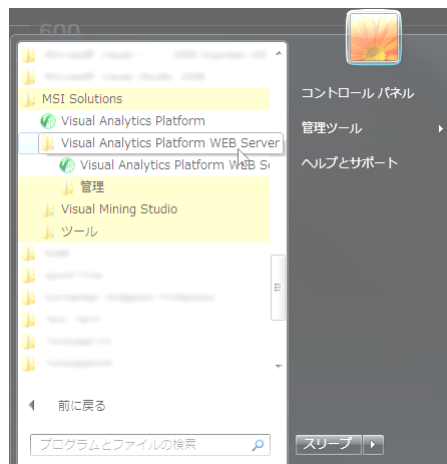


図 2-30 VAP スタートメニュー

続いて、VMX のインストールを行ないます。

VMX のインストールウィザードが起動します。

「次へ」を選択してください。



図 2-31 インストールウィザード(1)

スタートメニューに作成するメニューフォルダ名を指定します。

デフォルトの設定のまま、「次へ」を選択してください。

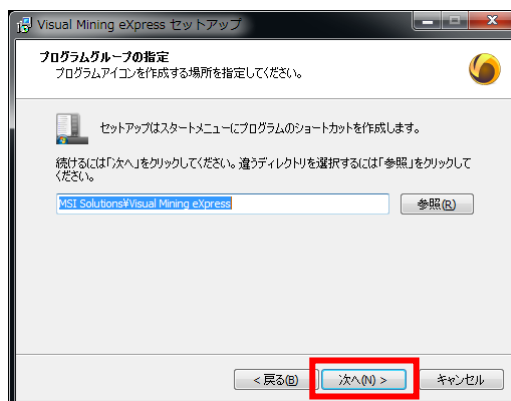


図 2-32 インストールウィザード(2)

インストールを開始する前に確認のメッセージが表示されます。

「インストール」を選択してください。直ちにインストールが開始されます。

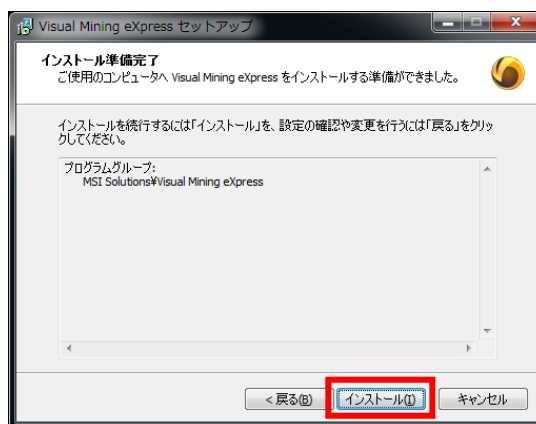


図 2-33 インストールウィザード(3)

インストール中は経過が表示されます。そのままお待ちください。

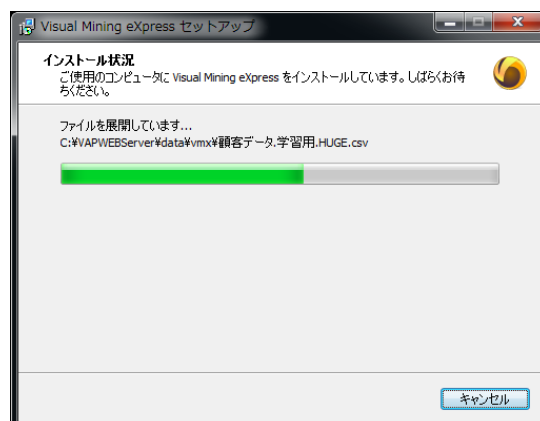


図 2-34 インストールウィザード(4)

VMX のインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「完了」を押下してください。このとき「Visual Mining eXpress を開く」にチェックを入れておくとインターネットブラウザが開き VMX のログイン画面が表示されます。「VMX チュートリアルを開く」にチェックを入れておくと VMX のチュートリアル(PDF)が開きます。



図 2-35 インストールウィザード(5)

「Visual Mining eXpress を開く」より、デフォルトのブラウザが起動して、VMX のログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されないときは、[5.1 章ブラウザの接続に失敗 \(ページが開かない\)](#)を参照してください。

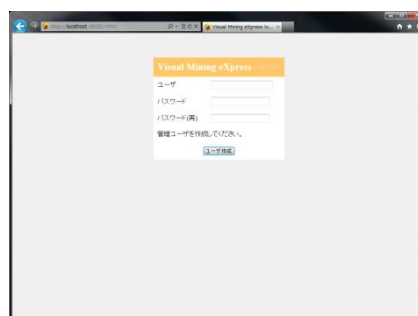


図 2-36 ログイン画面

「VMX チュートリアルを開く」より、VMX のチュートリアル(PDF)が表示されます。

このチュートリアルはスタートメニューより再度表示させることができます。



図 2-37 VMX チュートリアル

VMX をインストールすると、スタートメニューにメニューフォルダ「MSI Solutions」の下に「Visual Mining eXpress」が作成されます。また、デスクトップ上に「VMX データフォルダ」のショートカットが作成されます。

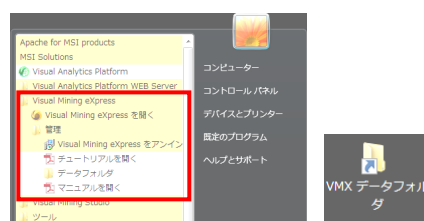


図 2-38 VMX スタートメニュー (左) と VMX データフォルダ (右)

以上でインストーラーの動作は終了です。

Python および Apache のインストール時に再起動を求められても無視して、インストールを続行した場合はここで再起動を行なってください。

## 2.3. 管理ユーザの作成

インストールが完了した直後では、管理ユーザが設定されていません。次の手順で管理ユーザを作成してください。

ブラウザでログイン画面を表示します。スタートメニューの「MSI Solutions」->「Visual Mining eXpress」から「Visual Mining eXpress を開く」を選択してください。通常使うブラウザが起動し、VMX のログインページが表示されます。初回実行時は少々時間がかかります。ページが開かないときは、[5.1 章ブラウザの接続に失敗 \(ページが開かない\)](#)を参照してください。

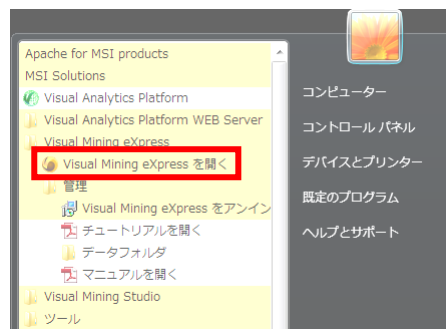


図 2-39 スタートメニュー

初回アクセス時に、管理ユーザの作成を求められます。（ここで指定したユーザは後で変更できます）

ユーザを作成するには、ユーザ名およびパスワード（2回）を入力して「ログイン」を押下します。

A screenshot of a user creation form. It has three input fields: 'ユーザ' (User), 'パスワード' (Password), and 'パスワード(再)' (Password (confirm)). Each field is outlined with a red rectangular box. Below the fields, there is a text label '管理ユーザを作成してください。' (Create an administrator user.) and a button labeled 'ユーザ作成' (Create user), which is also outlined with a red rectangular box.

図 2-40 ログイン画面

無事ログインできるとホーム画面が表示されます。

VMX を終了するときは、一旦ログアウトを行ってから、ブラウザを閉じてください。ログアウトするには右上の「ログアウト」をクリックしてください。

ログアウトせずにブラウザを閉じた場合、ブラウザによってはセッション情報が残る場合がありますため、セキュリティ上お勧めできません。



図 2-42 ホーム画面



図 2-43 ログアウト



# 3. アンインストール

## 3.1. アンインストールを行なう前に

アンインストールでは、次の二つの方法を選択できます。

- (a) VMX の実行結果・ユーザ情報を残してアンインストール
- (b) 全てを削除するアンインストール

実行結果・ユーザ情報を残しておく、と、再度インストールしたときに以前の状態を復元できます。

アンインストール作業は、次の手順で行ないます。

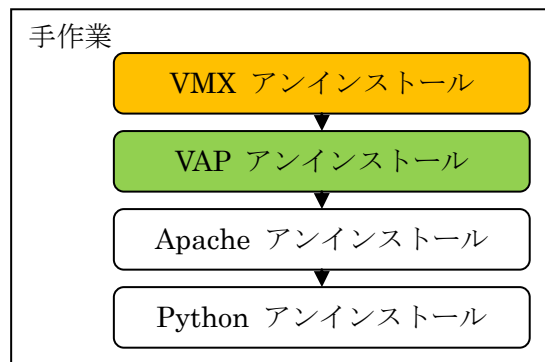


図 3-1 作業手順

インストール時では1つの exe ファイルを実行するだけでまとめてインストールできましたが、アンインストールではそれぞれ個別にアンインストーラーを実行する必要があります。

アンインストールを開始する前に、分析メニューが終了していることを確認してください。また、VAP が起動中であれば直ちに終了してください。VAP を終了しているのに、インストーラー実行時に「VAP が実行中」の旨表示されるときは [5.4 章 VAP 実行中のメッセージ表示](#)を参照してください。VAP を起動したままアンインストールを実行すると一部のファイルをロックした状態になり、アンインストールが不完全に終了します。

次節、[3.2 章アンインストールの手順](#)ではデータ(分析メニューの実行結果およびユーザ設定)を残す指定を行ないながらアンインストールを行なう手順を説明します。全てを削除してアンインストールする場合は、「データを全て削除しますか？」で「はい」を選択するか、[3.3 章アンインストール時の完全削除](#)を参考にしてください。

Python に関しては、弊社製品 TMStudio, S<sup>3</sup>等で共通に利用している場合があります。そのときは Python をアンインストールしないでください。

## 3.2. アンインストールの手順

### 3.2.1. VMX アンインストール

スタートメニューの「MSI Solutions」 - 「Visual Mining eXpress」 - 「管理」より「Visual Mining eXpress をアンインストールする」を選択してください。

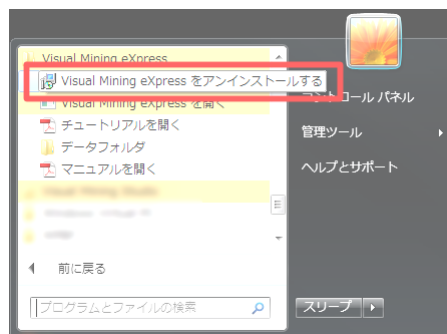


図 3-2 スタートメニュー

#### Win7, Vista のみ

メニューを実行すると管理者での実行を確認するダイアログが表示されます。

「はい」を選択してください。

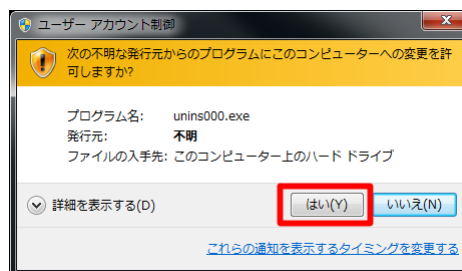


図 3-3 管理者実行確認

アンインストールを確認するメッセージが表示されます。

「はい」を選択してください。「いいえ」を選択するとアンインストールを中断します。

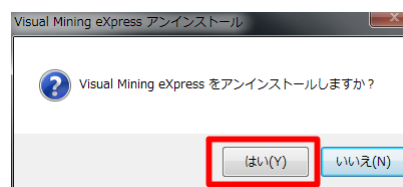


図 3-4 アンインストール確認

データを全て削除するか、実行結果・ユーザ情報を残してアンインストールするかを選択します。

「いいえ」を選択してデータを残すようにします。直ちにアンインストールが開始されます。

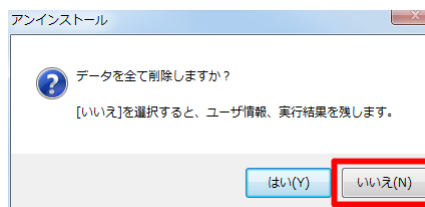


図 3-5 データを残す指定

アンインストール中は経過が表示されます。  
そのままお待ちください。

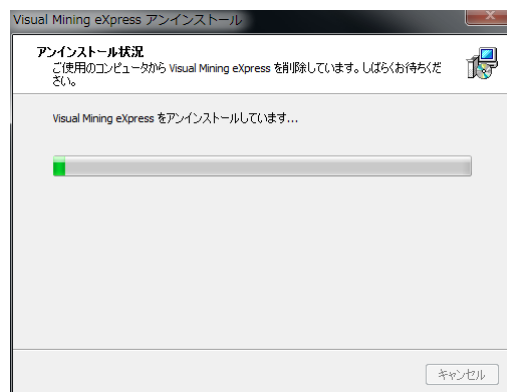


図 3-6 アンインストールウィザード

アンインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。

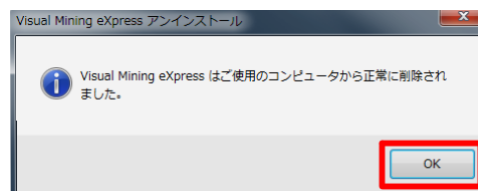


図 3-7 アンインストール完了

続いて、VAP のアンインストールを行ないます。

### 3.2.2. VAP WEB Server アンインストール

スタートメニューの「MSI Solutions」 – 「Visual Analytics Platform WEB Server」 – 「管理」より「Visual Analytics Platform をアンインストールする」を選択してください。

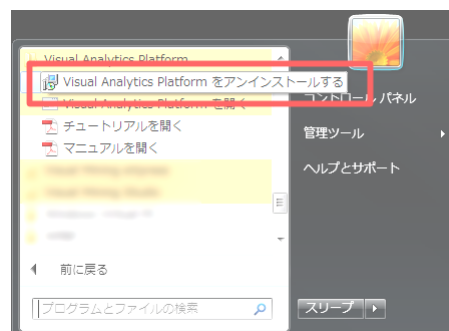


図 3-8 スタートメニュー

### Win7, Vista のみ

メニューを実行すると管理者での実行を確認するダイアログが表示されます。

「はい」を選択してください。

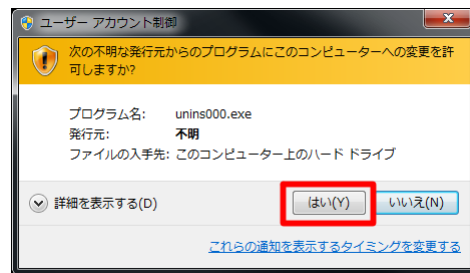


図 3-9 管理者実行確認

アンインストールを確認するメッセージが表示されます。

「はい」を選択してください。直ちにアンインストールが開始されます。「いいえ」を選択するとアンインストールを中断します。



図 3-10 アンインストール確認

データを全て削除するか、実行結果・ユーザ情報を残してアンインストールするかを選択します。

「いいえ」を選択してデータを残すようにします。直ちにアンインストールが開始されます。

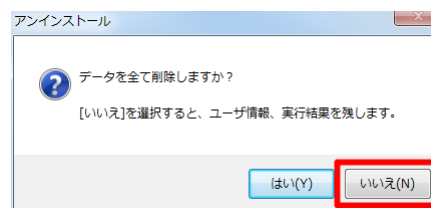


図 3-11 データを残す指定

アンインストール中は経過表示されます。そのままお待ちください。

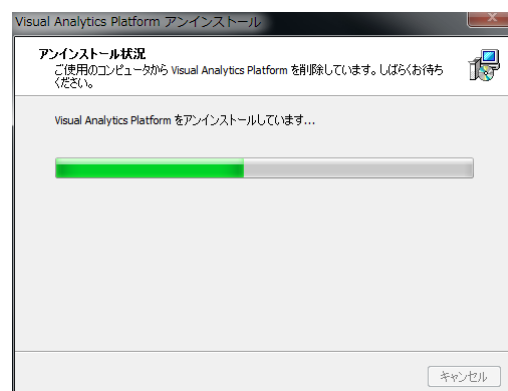


図 3-12 アンインストールウィザード

アンインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。

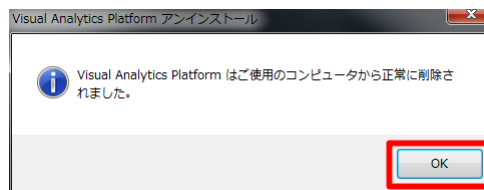


図 3-13 アンインストール完了

続いて、Apache のアンインストールを行ないます。

### 3.2.3. Apache アンインストール

Apache のアンインストールを行なうには、コントロールパネルの「プログラムと機能」から行ないます。

スタートメニューのコントロールパネルから「プログラムと機能」を選択してください。

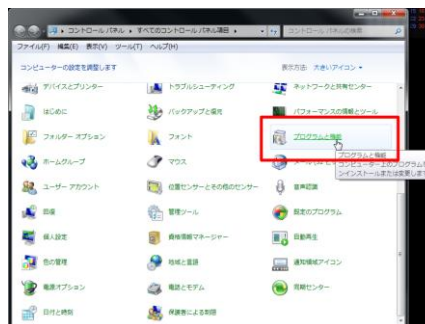


図 3-14 コントロールパネル

「Apache x.y.z for MSI products」をダブルクリックしてください。(x.y.z は任意の数字)

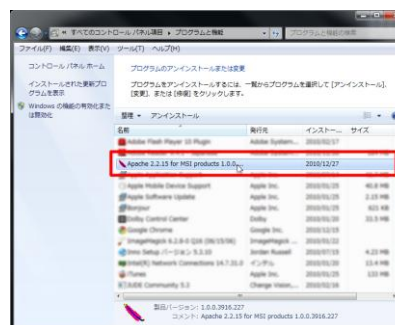


図 3-15 プログラムと機能

アンインストールを確認するメッセージが表示されます。

「はい」を選択してください。「いいえ」を選択するとアンインストールを中断します。



図 3-16 アンインストール確認

アンインストールの開始直後にコマンドプロンプトが表示されます。自動的に閉じるまで、そのままお待ちください。(Apache を停止しています)

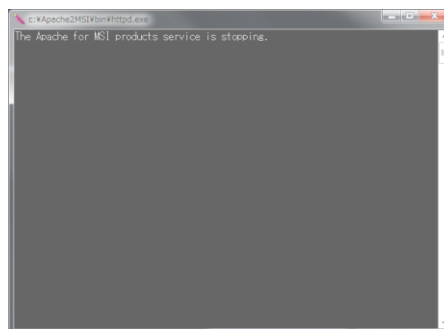


図 3-17 コマンドプロンプト

アンインストール中は経過が表示されます。そのままお待ちください。

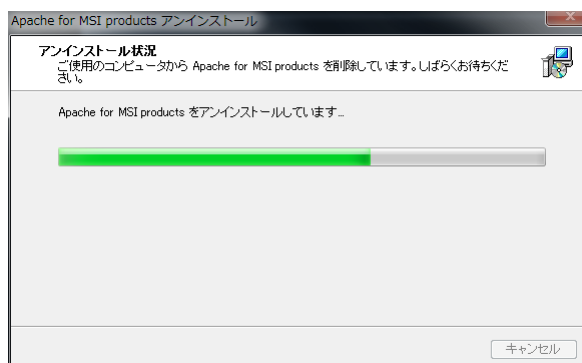


図 3-18 アンインストールウィザード

アンインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。



図 3-19 アンインストール完了

続いて、Python のアンインストールを行ないます。

### 3.2.4. Python アンインストール

Python に関しては、弊社製品 TMStudio, S<sup>3</sup> 等で共通に利用している場合があります。そのときは Python をアンインストールしないでください。

Python のアンインストールを行なうには、コントロールパネルの「プログラムと機能」から行ないます。

コントロールパネルの「プログラムと機能」より、「Python x.y.z for MSI products」をダブルクリックしてください。(x.y.z は任意の数字)

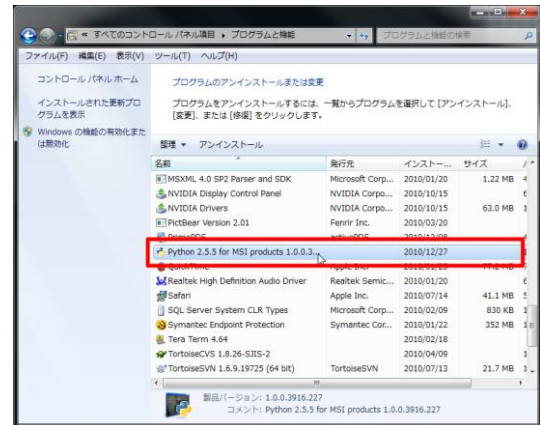


図 3-20 プログラムと機能

アンインストールを確認するメッセージが表示されます。

「はい」を選択してください。直ちにアンインストールが開始されます。「いいえ」を選択するとアンインストールを中断します。

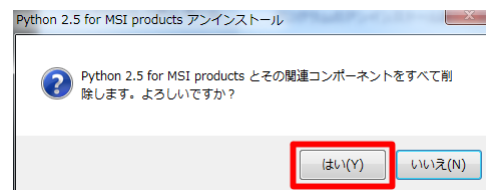


図 3-21 アンインストール確認

アンインストール中は経過が表示されます。そのままお待ちください。

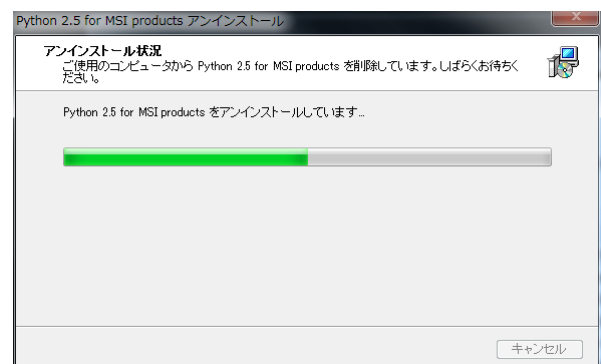


図 3-22 アンインストールウィザード

アンインストールが終了すると、作業完了のメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。

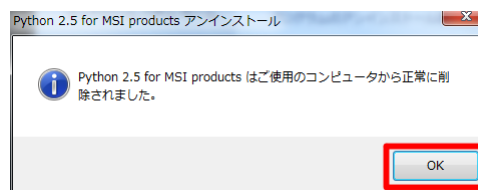


図 3-23 アンインストール完了

以上で、アンインストール作業が終了になります。

---

### 3.3. アンインストール時の完全削除

アンインストールの開始時に「データを全て削除しますか？」の問い合わせに「はい」を選択してアンインストールを行なうと、追加したデータも含めて完全に削除します。一方で [3.2 章 アンインストールの手順](#) のように「いいえ」を選択してアンインストールを行なうと、分析メニューの実行結果およびユーザ情報を残してアンインストールします。データは次の 2 箇所記録されます。データを残してアンインストールしても、これらを削除することで完全に削除できます。

C:\¥Apache2MSI¥htdocs¥media\_root

C:\¥Visual Analytics Platform



## 4. バージョンアップ

バージョンアップの手順は、VMX と VAP WEB Server 旧バージョン(VAP)をアンインストールして、VAP (旧 VMStudio) と VMStudio をバージョンアップし、VAP WEB Server (新バージョン) と VMX をインストールします。

バージョンアップ時の注意事項として、アンインストールのときに**データを残す**ようにしてください。またインストールのときに**前回と同じ場所にインストール**してください。手順の詳細は [3.2 章アンインストールの手順](#) に従って VMX と VAP WEB Server(旧 VAP) のアンインストールを行ない、VAP (旧 VMStudio) のインストールガイドに従って VAP (旧 VMStudio) と VMStudio をバージョンアップして、[2.2 章インストールの手順](#) に従ってインストールを行なってください。

作業手順 (アンインストール、VAP (旧 VMStudio)バージョンアップ、インストール) の順番は守ってください。旧 VAP 0.9.1 の 64bit 環境では旧 VAP のアンインストール時に VMStudio を 64bit 環境に戻すため、先んじて VAP (旧 VMStudio) をバージョンアップさせることはできません。

また、自動的にバージョンアップを行なう機能は提供しておりません。お手数ですが一部手作業で作業を行なって頂きますようお願い

いたします。

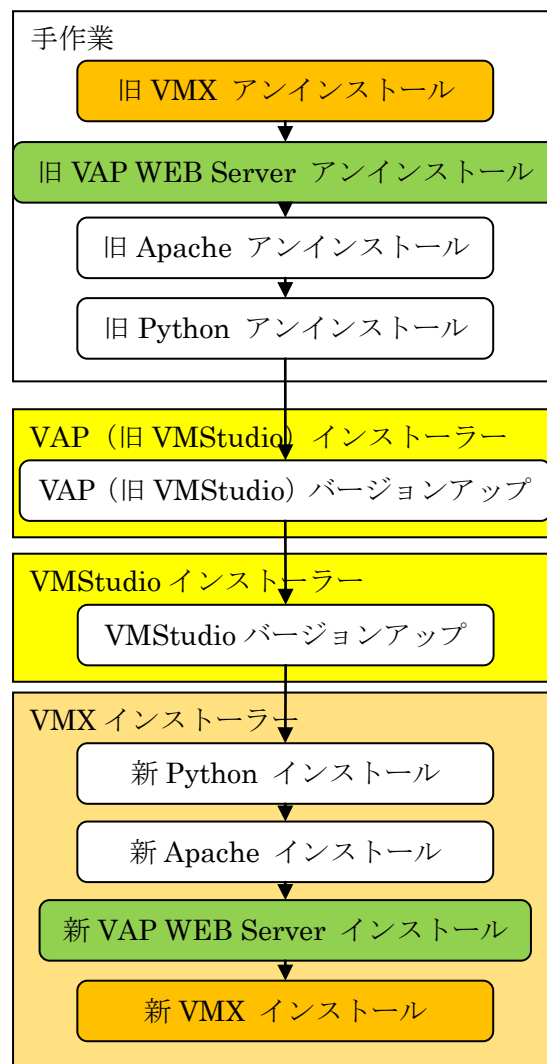


図 4-1 作業手順

# 5. よくある質問とその解決方法

## 5.1. ブラウザの接続に失敗(ページが開かない)

対応の手順として、下記3通りの手法を紹介します。

- ・ブラウザの再読み込み
- ・Apache の再起動とブラウザの再読み込み
- ・Apache の設定をデフォルトに戻して、接続

いずれの場合でも失敗するときは、本紙表紙の問合せ先までご連絡ください。

まずは再読み込み、もしくはブラウザのキャッシュを削除して再読み込みを行なってください。一度再読み込みが失敗しても、数秒時間をおいて再読み込みすることで成功することもあります。

キャッシュの削除方法はブラウザ毎によって異なります。それぞれのブラウザの設定をご確認ください。

ここではInternet Explorer 9の例を示します。「ツール」の「インターネットオプション」を選択して、インターネットオプションのダイアログを表示します。

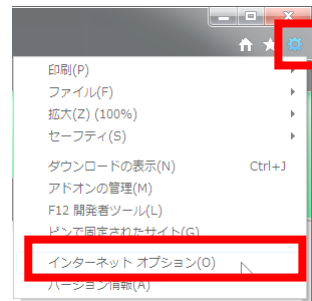


図 5-1 ツールメニュー

「全般」タグの「閲覧の履歴」の項目で「削除」ボタンを押下して、「閲覧の履歴の削除」ダイアログを表示します。

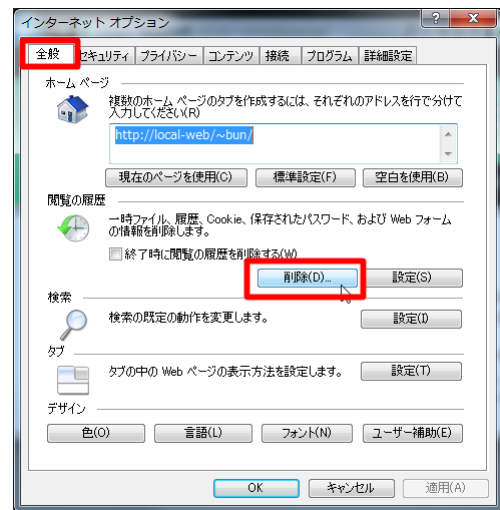


図 5-2 インターネットオプション

「インターネット一時ファイル」の項目にチェックを入れて、「削除」ボタンを押下して、ダイアログを閉じます。

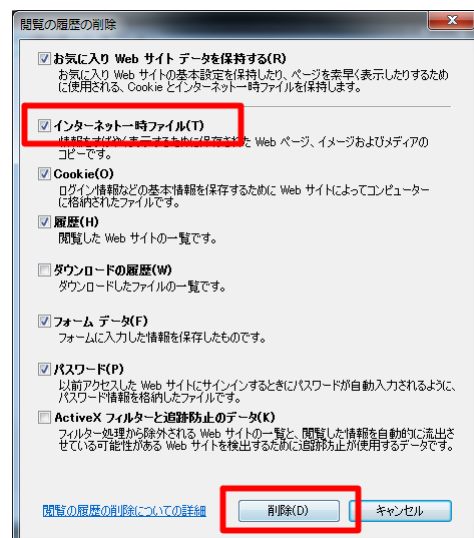


図 5-3 閲覧の履歴の削除ダイアログ

インターネットオプションのダイアログの「OK」ボタンを押下して、ダイアログを閉じます。

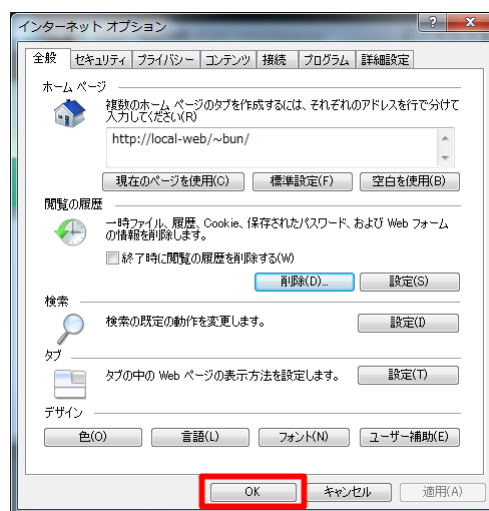


図 5-4 インターネットオプション

削除が完了すると、ブラウザの下部にメッセージが表示されます。

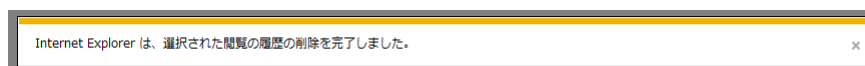


図 5-5 ブラウザのメッセージ

このあとブラウザ上で再読み込みを行なってください。再読み込みマークをクリックするか、F5 もしくは Ctrl-R のキーボード操作で更新されます。



図 5-6 再読み込みマーク

何度再読み込みしても失敗する場合は、Apache を再起動して、ブラウザの再読み込みを行なってみてください。Apache を再起動するには、Apache の設定ダイアログを操作します。

Apache の設定ダイアログを表示するには、スタートメニューの「Apache for MSI products」より「Apache for MSI products を設定する」を選択してください。

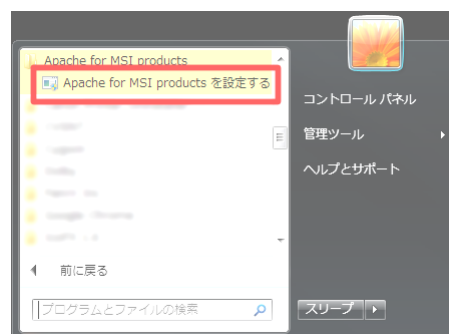


図 5-7 スタートメニュー

Win7, Vista のみ

メニューを実行すると管理者での実行を確認するダイアログが表示されます。

「はい」を選択してください。

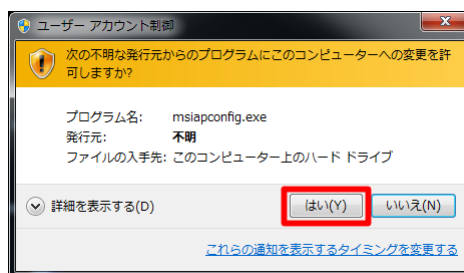


図 5-8 管理者実行確認

設定ダイアログの「適用」ボタンを押下します。

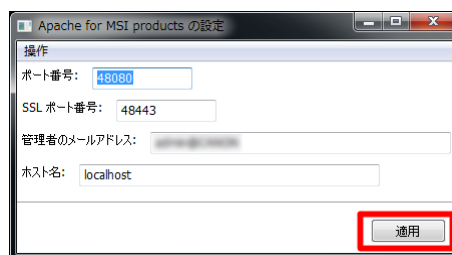


図 5-9 設定ダイアログ

完了すると確認のメッセージが表示されます。

「OK」を押下して閉じてください。更に、設定ダイアログは閉じて構いません。



図 5-10 確認メッセージ

再度、ブラウザで再読み込みを行なってください。

Apache を再起動しても接続に失敗する場合は、Apache のデフォルトの設定（ホスト名に「localhost」、ポート番号に「48080」）で接続できるか御確認ください。既にデフォルトの状態であれば、本紙表紙の問合せ先までご連絡ください。

スタートメニューの「Apache for MSI products」より「Apache for MSI products を設定する」を選択してください。



図 5-11 スタートメニュー

### Win7, Vista のみ

メニューを実行すると管理者での実行を確認するダイアログが表示されます。

「はい」を選択してください。

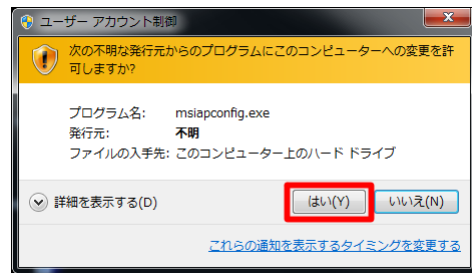


図 5-12 管理者実行確認

表示された設定ダイアログで、

ホスト名に「localhost」を、

ポート番号に「48080」を指定します。

確定する為に「適用」を押下してください。

Apache を再起動します。

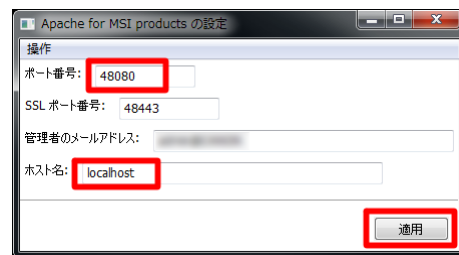


図 5-13 Apache 設定ダイアログ

完了すると確認のメッセージが表示されます。

「OK」を押下して閉じてください。更に、設定ダイアログは閉じて構いません。

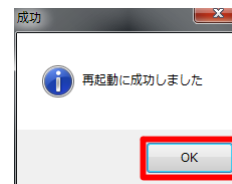


図 5-14 確認メッセージ

ブラウザにて `http://localhost:48080/` へアクセスして下さい。問題がなければ正常に動作している旨のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されないときは、インストールに失敗しているか製品の不具合の可能性あります。お手数ですが表紙の連絡先へ御連絡ください。



図 5-15 ブラウザメッセージ

正常に動作しているときは、スタートメニューの「MSI Solutions」－「Visual Analytics Platform WEB Server」より「Visual Analytics Platform WEB Server を開く」を選択してください。

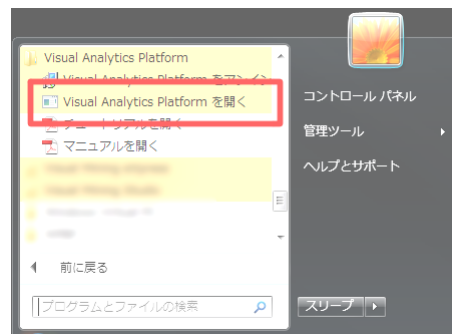


図 5-16 スタートメニュー

正しく設定されているとログイン画面が表示されます。

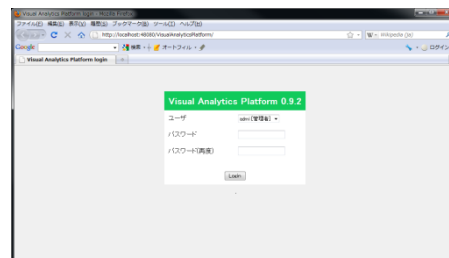


図 5-17 ログイン画面

上記操作で失敗する場合は、本紙表紙の問合せ先までご連絡ください。

## 5.2. Apache のデスクトップ対話サービスの変更

VMX のログイン画面で『「デスクトップとの対話サービスに許可」がオフ』の旨のメッセージが表示される時は、「Apache のサービス変更」が未設定の状態です。このままでは分析メニューを実行することができません。

本来、インストーラーにより自動で設定されます。

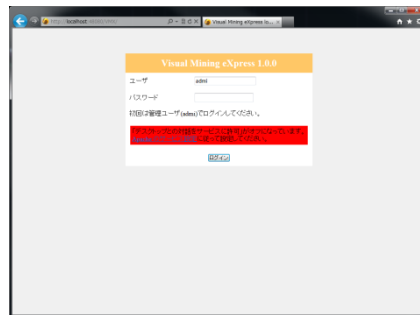


図 5-18 ログイン画面のエラー表示

サービスの変更を行なうには、コントロールパネル内にある管理ツールを利用します。

スタートメニューから「コントロールパネル」を選択してください。

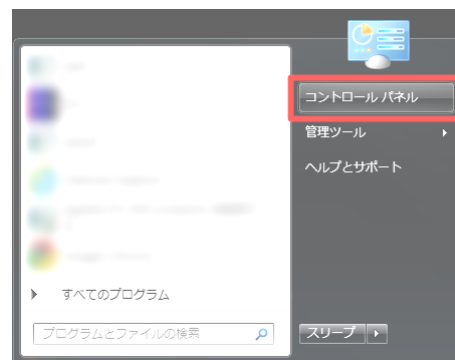


図 5-19 スタートメニュー

コントロールパネル内の「管理ツール」を選択してください。

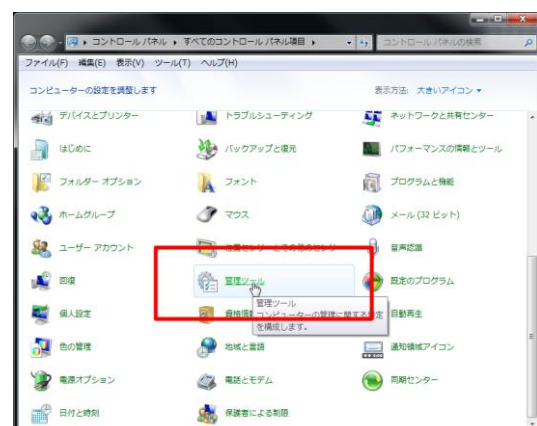


図 5-20 コントロールパネル



管理ツール内の「サービス」を選択してください。

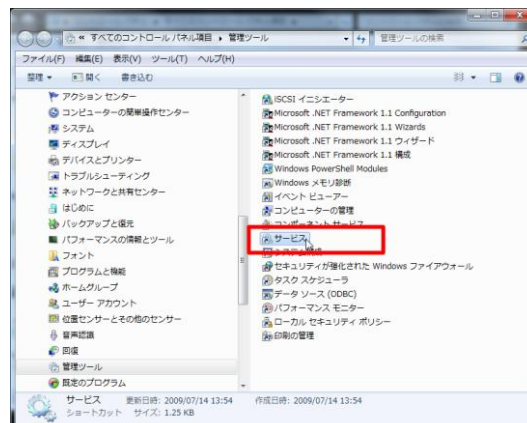


図 5-21 管理ツール

サービスの中から「Apache for MSI products」をダブルクリックしてください。

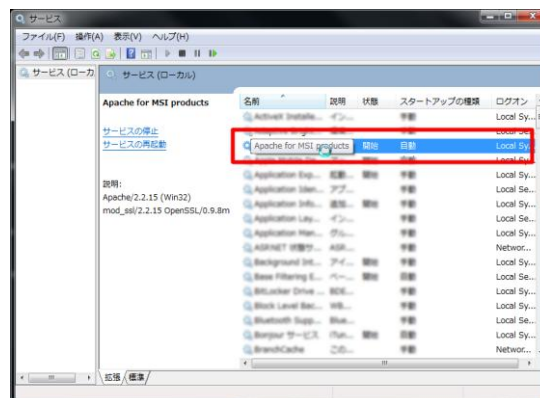


図 5-22 サービスダイアログ(1)

「Apache for MSI products」のプロパティが表示されます。

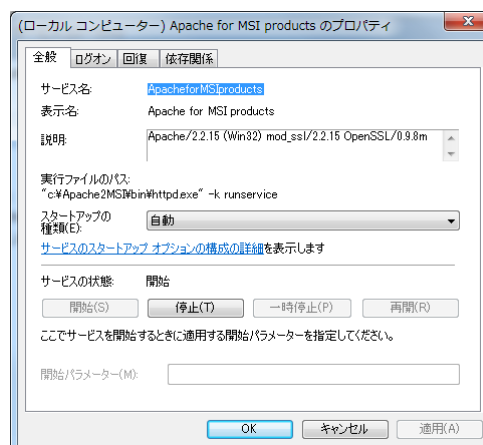


図 5-23 Apache のプロパティ(1)

「ログオン」タブを選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」にチェックを入れ、「OK」を選択してください。

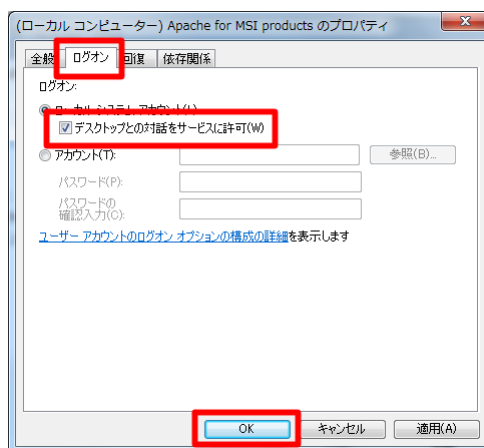


図 5-24 Apache のプロパティ(2)

「Apache for MSI products」を右クリックして、「再起動」を選択してください。ここで再起動が選べない時は、Apache のサービスが起動できていません。[5.5 章 WEB の公開設定](#)にて適当なポート番号を指定してください

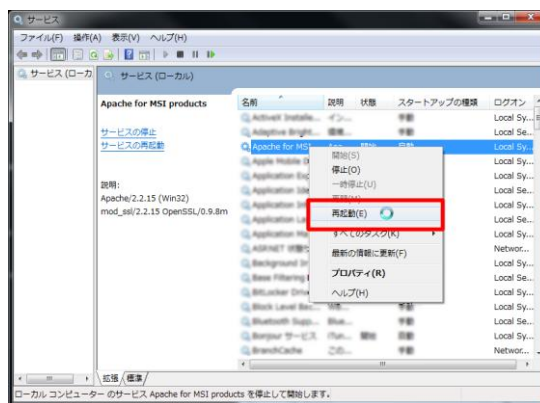


図 5-25 サービスダイアログ(2)

ダイアログが自動的に閉じるまでそのままお待ちください。(Apache を再起動していません)

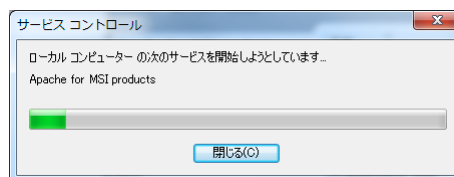


図 5-26 サービスコントロール

尚、この設定により分析メニューの初回実行時に「対話型サービスの検出」のダイアログが表示されることがありますが、無視してそのまま閉じていただいて構いません。

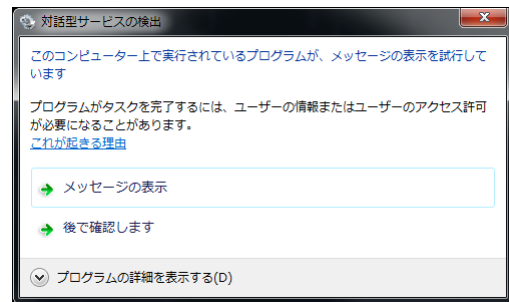


図 5-27 メッセージダイアログ

設定後に再度ログイン画面を表示（再読み込み）すると通常のログイン画面が表示されます。

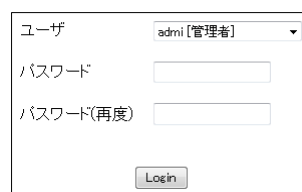


図 5-28 ログイン画面(2)

## 5.3. 未対応／動作保証外ブラウザのメッセージ表示

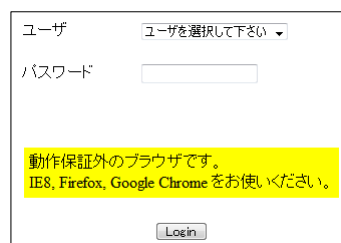
Internet Explorer 9、IE 8 以前の Internet Explorer（例えば IE 7）からアクセスするとログイン画面に警告メッセージが表示されます。IE 8 の互換表示を使っても同様に警告が表示されます。IE 9、IE 8 以外の IE は動作保証外なので速やかにバージョンアップしていただくか、他のブラウザ(Firefox, Chrome)をお使いください。



The screenshot shows a login form with the following elements: a user selection dropdown menu with 'admi [管理者]' selected, two password input fields labeled 'パスワード' and 'パスワード(再度)', and a 'Login' button. A red banner at the bottom of the form contains the text: '未対応ブラウザです。Internet Explorer (バージョン 8 をお使いください。)'

図 5-29 ログイン画面(1)

また、IE 9, IE 8, Firefox, Chrome 以外のブラウザから接続するとログイン画面で警告メッセージが表示されます。推奨ブラウザ (IE 9, IE 8, Firefox, Chrome) の御利用をお勧め致します。



The screenshot shows a login form with the following elements: a user selection dropdown menu with 'ユーザを選択して下さい' selected, one password input field labeled 'パスワード', and a 'Login' button. A yellow banner at the bottom of the form contains the text: '動作保証外のブラウザです。IE8, Firefox, Google Chrome をお使いください。'

図 5-30 ログイン画面(2)

## 5.4. VAP 実行中のメッセージ表示

インストーラーおよびアンインストーラーを実行すると、VAP を起動していないのに「VAP が実行中」のメッセージが表示されることがあります。

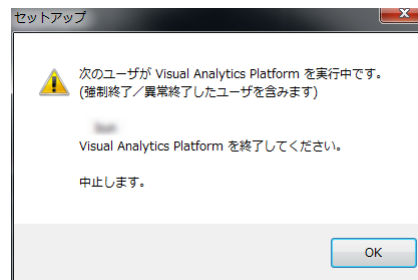


図 5-31 実行中時のメッセージ

インストーラー／アンインストーラーでは VAP が動作中かどうかを確認しています。このとき、実際に VAP を実行しているユーザの他に、強制終了したユーザ、異常終了したユーザも含めて検出してしまいます。VAP を起動していなくて、かつ分析メニューを実行してもいないのにこのメッセージが表示されるときは、強制終了／異常終了のユーザの疑いがあります。

このメッセージが表示されるときは、まず最初にタスクマネージャで VAP が実行されていないことを確認してください。アプリケーション名なら Visual Analytics Platform、プロセス名なら VAP.exe を確認して、該当する名称が無ければ VAP が実行されていません。

次に、VAP のインストールディレクトリの SimlutaneousRun 以下のファイルを全て削除します。

VAP をデフォルトでインストールした場合、

```
C:\Program Files\Mathematical Systems Inc\Visual Analytics Platform\SimlutaneousRun
```

もしくは

```
C:\Program Files (x86)\Mathematical Systems Inc\Visual Analytics Platform\SimlutaneousRun
```

のフォルダ内のファイルを削除してください。

最後に、再度インストール／アンインストールを行なってください。

## 5.5. Web の公開設定

Apache のデフォルトの設定では、ホスト名に「localhost」、ポート番号に「48080」が割り振られています。同一マシン上で Apache を動作させ、ブラウザでアクセスする分には何ら問題はありますが、Web サービスとして公開するには正しく設定する必要があります。

※ Web 公開には公開用のライセンスが必要になります。（詳しくは問合せ先まで）

※ 設定にはネットワーク管理の知識を必要とします。

ここで設定する Apache の項目は、「ホスト名」「ポート番号」の2点です。

ホスト名には DNS や WINS、HOSTS ファイル等で名前解決ができる名称を指定して下さい。もしくは固定の IP アドレスでも構いません。例えば、「www.msi.co.jp」や「192.168.11.2」となります。

ポート番号は、他の HTTP サーバや通信ソフトウェアで使用されているポート番号と重複しない番号を割り振ってください。通例 80 番を割り当てられ、この番号を利用することで URL の指定にポート番号を省略できます。

ホスト名、ポート番号の変更には専用の設定ダイアログで入力します。以下では、ホスト名に「www.example.com」をポート番号に「8000」を指定する例を説明します。

スタートメニューの「Apache for MSI products」より「Apache for MSI products を設定する」を選択してください。

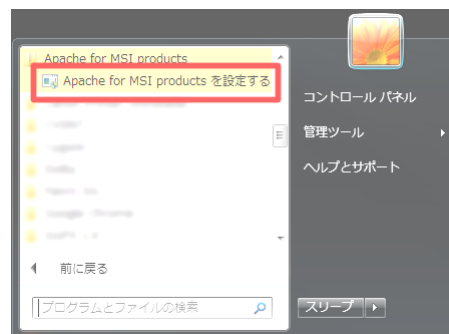


図 5-32 スタートメニュー

Win7, Vista のみ

メニューを実行すると管理者での実行を確認するダイアログが表示されます。

「はい」を選択してください。



図 5-33 管理者実行確認

Apache の設定ダイアログが表示されます。

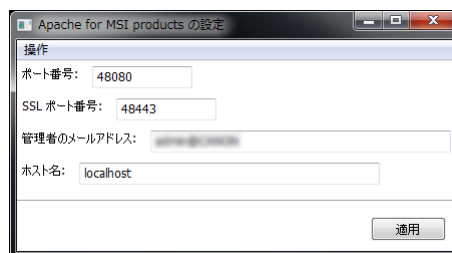


図 5-34 Apache 設定ダイアログ(1)

ポート番号を「8000」に変更します。「適用」を押下してください。Apache を再起動します。

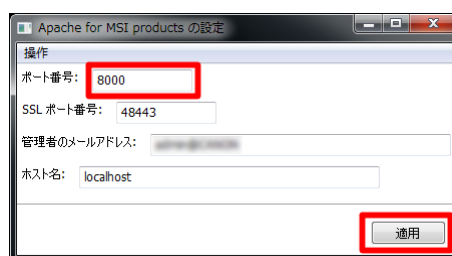


図 5-35 Apache 設定ダイアログ(2)

再起動が完了すると確認のメッセージが表示されます。

「OK」を押下してください。更に、設定ダイアログは閉じて構いません。



図 5-36 確認メッセージ

以上で設定変更の操作は終了です。

確認のため、Web ページを開いてみましょう。

スタートメニューの「Visual Mining eXpress」より「Visual Mining eXpress を開く」を選択してください。

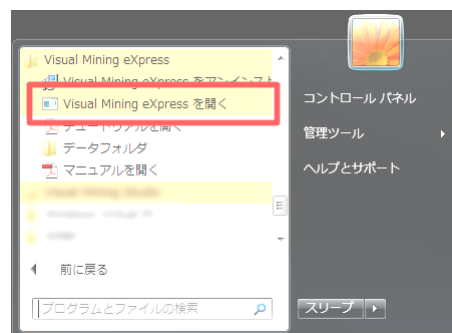


図 5-37 スタートメニュー

ブラウザに表示されるURLにはホスト名の後ろに”:8000”が追記されていることが確認できます。

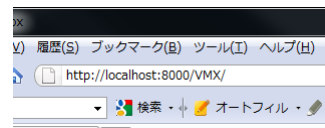


図 5-38 ブラウザ



# 索引

VAP.....	5	VMStudio.....	5
VAP WEB Server.....	5	VMX .....	3